



光の灯籠

人々迎え

JR丸亀駅前でイルミ

丸亀市の玄関口、JR丸亀駅南口広場(同市浜町)で恒例の「ウィンターイルミネーション」が行われている「写真」。広場にある噴水跡の花壇を約1万5千個の発光ダイオード(LED)で彩っており、行き交う人々の目を楽しませている。

市民や観光客らに季節を感じてもらおうと、市観光協会が毎年実施し、本年度で10回目。四国職業能力開発大学校(同市郡家町)の学生が全体をデザインし、城坤幼稚園(同市今津町)の5歳児26人もランタン作りで協力した。

イルミネーションのテーマは「まるがめをとおりつ」。かつて金毘羅参りで旧丸亀港に出入りする船の目印となった太助灯籠に着想を得て、同大学の学生が構想。4本の鉄骨アーチに網を張って緑や青、金など色とりどりの灯籠を光で作り出し、園児が動物や花などの絵を描いた和紙を貼ったランタンで花壇を囲んでいる。

点灯は2月2日まで。時間は午後5時～同10時。